

平成26年度

蓮田市定例監査兼行政監査  
結 果 報 告 書

蓮田市監査委員



写

監査第117号  
平成27年2月17日

蓮田市市長	中野和信様
蓮田市議会議長	石川誠司様
蓮田市教育委員会委員長	関口茂様
蓮田市選挙管理委員会委員長	田村ます子様
蓮田市公平委員会委員長	池澤幸一様
蓮田市農業委員会会長	萩原和夫様
蓮田市固定資産評価審査委員会委員長	木村滋様

蓮田市監査委員 内田 薫

蓮田市監査委員 島津 信温

平成26年度定例監査兼行政監査の結果に関する報告書の提出について

地方自治法第199条第1項及び第2項の規定による標記監査を実施したので、その結果に関する報告書を提出します。



## 目 次

項 目	頁
第 1 監査のテーマ	1
第 2 テーマ設定の理由	1
第 3 監査の対象	1
第 4 監査の期間	1
第 5 監査の方法	1
第 6 監査の着眼点	2
第 7 監査の結果	2
1 防災倉庫の備蓄計画	2
2 防災倉庫の設置状況	3
3 物資購入等に関する予算及び決算	3
4 防災倉庫の管理状況	4
5 防災倉庫の備蓄品の状況	5
I 防災倉庫備蓄品一覧（全学校計）	6
I-1～13 防災倉庫備蓄品一覧（各学校別）	7～14
6 民間団体及び市町等との協定の状況	15
7 市民への周知等の状況	16
8 各地域の自主防災組織との連携	16
第 8 むすび	17
資料編	21



## 第1 監査のテーマ

「防災倉庫の設置・管理及び災害時における活用等について」

## 第2 テーマ設定の理由

阪神・淡路大震災の発生以降、新潟県中越地震、東日本大震災をはじめ、長野県北部地震等各地で大規模な震災等が発生し、今後、首都直下型地震や南海トラフ巨大地震などの発生が危惧されている。震災等の自然災害はいつ発生するか分からないものであり、行政には被害を最小限に抑える責務が課されており、そのための方策を講じておかなければならない。

本市においては、災害対策基本法(昭和36年法律第223号)第42条の規定に基づき、市民の生命及び財産を災害等から守るため「蓮田市地域防災計画」を策定し、蓮田市第4次総合振興計画の基本政策の一つである「安心安全で快適なまちをつくる」ために各種の施策が講じられている。

現実問題として地震等の災害が発生した場合、災害発生直後において食料及び生活必需品等を確保することは、災害発生初期の円滑な救援・救護活動を行ううえで極めて重要なことである。市としては、蓮田市地域防災計画に基づき防災倉庫を各小中学校に設置し、防災備蓄品を備蓄・保管しているほか、流通業者等と災害時における食料・生活物資等の供給等に関する協定を締結するなど、計画的に備蓄体制の整備を進めている。

そこで、災害発生時に必要不可欠である防災備蓄品を備えた防災倉庫の設置・管理及び備蓄品の現況等を確認することにより、安心安全で快適なまちづくりの推進に資するために、監査を実施した。

## 第3 監査の対象

監査の対象は、防災倉庫の設置・管理及び災害時における活用等として、小中学校に設置してある防災倉庫の備蓄品の管理状況等について、本監査を実施することとした。

## 第4 監査の期間

平成26年11月7日から平成27年2月16日まで

## 第5 監査の方法

本監査を実施するにあたり、危機管理課に防災倉庫の設置・管理及び災害時における活用等についての書類の提出を求め、ヒアリングを行うとともに現地調査を実施した。

## 第6 監査の着眼点

- 1 防災倉庫の設置計画及び設置状況は、どのようになっているか。
- 2 防災倉庫に備えている物資は、どのようなものか。
- 3 非常用食料の備蓄状況及び備蓄計画は、どのようになっているか。
- 4 災害時に必要となる生活物資の確保対策は、どのようになっているか。
- 5 防災倉庫の保管・管理状況は、どのようになっているか。
- 6 防災倉庫の鍵の管理は、どのようになっているか。
- 7 災害時の応援協定等の状況は、どのようになっているか。
- 8 各地域の自主防災組織との連携は、どのようになっているか。

## 第7 監査の結果

### 1 防災倉庫の整備計画

#### (1) 蓮田市第4次総合振興計画

平成19年12月に策定（平成25年9月改定）された基本構想の中の基本政策Ⅲにおいて、「安心安全で快適なまちをつくる」を掲げ、市民のかけがえのない生命・財産を守るため、災害や危機への対策、交通安全、防犯に取り組み、市民が安心して暮らせる安心安全なまちづくりを推進することとしている。

その中で、「災害や危機に強いまちをつくる」ための施策として、防災体制の充実が掲げられ、防災資機材・施設等の整備のための主要事業に「防災備蓄倉庫の整備と資機材の整備（前・後期）」が位置付けられ、災害時要援護者対策として、高齢者、障がい者、乳幼児を考慮した食料品の備蓄や避難所におけるプライバシー保護のための資機材の整備が必要であるため、蓮田市地域防災計画に定める防災備蓄品を計画的に整備している。また、避難所である小中学校に計画的に防災備蓄倉庫を整備することになっている。

その他に自主防災組織等の充実、災害時における自治体、民間事業者・団体との相互応援体制の充実等の施策が展開されている。

#### (2) 蓮田市地域防災計画

蓮田市地域防災計画は、災害対策基本法第42条の規定に基づき、平成13年3月に蓮田市防災会議が策定して以来、数回の修正を経て現在に至っている。その目的とするところは、各課及び各関係機関の全機能を有効に発揮して、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することである。

防災倉庫については、蓮田市地域防災計画の第2編・防災予防計画の第6章・市の防災力の強化、第3節・生活維持活動のための準備の第10「備蓄対策」の中で規定されている。



具体的には、災害時において必要とされる物資を必要物資量として想定し、茨城県南部地震の想定に基づき、被災想定人口を約 6,300 人とし、必要食料数を 1 日 3 食分で 18,900 食（必要物資量）、必要生活必需品数を被災想定人口分並びに被災想定世帯 525 世帯分（必要物資量）としている。

なお、災害時に必要となる食料及び生活必需品については、目標数量を基に平常時から備蓄するものとするが、それを補完する形で目標数量の 3 分の 2 程度は平常時より流通業者等と協定を結んで万全を期すこととしている。また、食料については、市民に対しても 1 日分の備蓄を促進していくことがうたわれている。

この他、防災用資機材（バール等の救助用資機材等）や医薬品の備蓄についても計画的に実施するとともに、発災時において業者等からの供給を早急に受けることが難しい災害時要援護者向けの食品については、優先的に備蓄を行うこととしている。

その備蓄方法については、市全体が大きな被害を受けることを想定して、あらかじめ分散して必要な物資を備蓄することとし、基本的に避難所に備蓄倉庫を整備して備蓄することとしている。

## 2 防災倉庫の設置状況

蓮田市地域防災計画において、防災倉庫の設置は基本的に避難所に整備することになっており、避難所については、蓮田市地域防災計画の第 2 編・災害予防計画の第 6 章・市の防災力の強化、第 2 節・緊急対応活動のための準備の第 5「避難活動体制の整備」の中で避難場所及び避難所として 35 か所が指定されている。その内、避難場所としては、各小中学校及び公共施設等が指定されている。

防災倉庫については、平成 10 年度から設置が始まり、平成 21 年度までに市内の各小中学校 13 校全てに設置されている状況である。

今後は、公共施設についても設置の検討を行う計画である。

## 3 物資購入に関する予算及び決算

### (1) 概要

平成 21 年度は、平野小学校と黒浜南小学校に防災倉庫が設置された。この 2 校への設置により、市内の各小中学校 13 校への設置が完了した。

また、防災倉庫に備えている物資については、次のような予算・決算額であり、食料品については、賞味期限を基に買換えを行っているが、資機材については、買換えは行っていない状況である。

(2) 防災倉庫及び備蓄品購入等に関する予算・決算額（平成 21～26 年度）

単位：円

年 度	予 算 額	決 算 額	備 考
平成 21 年度	4,909,000	4,908,046	防災倉庫設置(平野・黒浜南小)
平成 22 年度	0	0	
平成 23 年度	688,000	666,341	
平成 24 年度	876,000	832,419	
平成 25 年度	875,000	853,918	
平成 26 年度	1,101,000	—	

4 防災倉庫の管理状況

(1) 備蓄品の管理

防災倉庫の備蓄品の管理については、防災倉庫備品整理簿に基づき、毎年 4 月に各倉庫の備蓄品の在庫確認が行われている。

(2) 鍵の保管・管理

防災倉庫の鍵については、危機管理課で 13 か所分を集中管理・保管をしているとともに、各小中学校にも保管されている。

(3) 現地調査

防災倉庫内の防災備蓄品は、各小中学校均一ではなく、地域の特性に合わせたものになっている。そのため、現地調査については、市街化区域内の蓮田中央小学校と市街化調整区域内の平野小学校及び平野中学校の防災倉庫の現地調査を行った。なお、平野小学校と平野中学校については、隣接しているため二つの防災倉庫で互いに補完している状況であった。

(4) 現地調査の結果

① 《蓮田中央小学校に設置してある防災倉庫の調査結果事項（→状況）》

- ・ 防災倉庫の大きさには、基準がない。  
→（備蓄品の量を想定し、大きさが設定してある）
- ・ 防災倉庫には、電力供給がない。  
→（ソーラー発電により稼働する換気扇は設置してある）
- ・ 夏掛は、平成 8 年に納品されたものである。  
→（中身の確認はしていない）
- ・ タオルは、いつ納品されたのか分からない。  
→（外から見える場所に納品日等の記載がない）

- ・給水袋は、平成 16 年に納品されたもので、使用したことがない。  
→（使用できるかどうかの確認がされていない）
- ・備品台帳に記載のないリアカーが 1 台あった。  
→（備品台帳への記載が漏れていた）
- ・環境学習館から各防災倉庫に分配保管された備品（食器等）がある。  
→（平成 26 年度中に保管のため、備品台帳への記載がない）

② 《平野小学校に設置してある防災倉庫の調査結果事項（→状況）》

- ・備品台帳に記載のない軍手が大量にある。  
→（防災訓練で余ったものが保管されている）
- ・備品台帳に記載のない「飲料水用」と表記されたポリタンクがある。  
→（実際は、一度灯油を入れ洗浄されずに「飲料水用」と表記のあるまま一時保管してある）
- ・備品台帳に記載のない車いす（2 台）がある。
- ・備品台帳に記載のない担架（3 台）がある。
- ・備品台帳に記載のないタオル（155 本）がある。  
→（平成 26 年度中に他の倉庫から移動したものである）
- ・ポリカーボネイト製の食器がある。  
→（黒浜小学校で使用していた食器を平成 26 年度中に各倉庫に分散保管している）
- ・発電機はあるが、燃料がない。  
→（防災倉庫内にガソリンの保管はできないため、市役所等から運ぶ想定である）
- ・防災倉庫の中にどのような物が入っているか、表示がない。  
→（外に表示すると、いたずらが心配されるので、ドアの内側に表示の予定である）

③ 《平野中学校に設置してある防災倉庫の調査結果事項（→状況）》

- ・タオルは、平成 8 年に納品されたものである。  
→（真空パックになっているので、使用できるかどうか確認していない）
- ・懐中電灯が 2 個あるが、使用できるか分からない状況である。  
→（実際に備え付けの開封していない乾電池を入れ点灯を確認したが、放電・液漏れ等のため点灯しない）

5 防災倉庫の備蓄品の状況

防災倉庫に備蓄されている内容は各学校により異なるため、全学校計と各学校の備蓄品一覧を 6 頁から 14 頁のとおり掲載した。

# I 防災倉庫備蓄品一覧（全学校計）

平成26年4月1日現在

分類	品名	仕様	箱数	総数
食糧	アルファ米		90箱	4,500食
	ライスるん		14箱	700食
	カレーライス		2箱	40食
資機材	防災用品セット			13箱
	組立仮設トイレ	ベンクイック洋式		12台
		札幌式		4台
	簡易トイレ	サニタクリーン	49.5箱	107セット
	便袋	Newサニタクリーン	77箱	18,704枚
	保管用収納袋		13箱	255パック
	ワンタッチトイレ	学校女子トイレ専用	14箱	150セット
	トイレ用スペア袋		12箱	560枚
	懐中電灯	(強力ライト)		10個
	発電機	ヤマハ2500i		5台
	メガホン	(拡声器)		5台
	リアカー	(組立式)		9台
	救助工具箱			9セット
	投光器			7基
	スタンド			3台
	コードリール	30m		4個
毛布・タオル類	毛布	真空パック	336箱	3,470枚
		災害救助用	99箱	1,584枚
	夏掛		22箱	143枚
	タオルケット		8箱	160枚
	ボアシート		6箱	129枚
	バスタオル	真空パック	24箱	1,218枚
	タオル	真空パック	28箱	5,632枚
		ダンボール詰	116箱	6,270枚
		タオル合計	130箱	11,965枚
	下着	男性用		50枚
女性用			50枚	
石鹼		4箱	640個	
救助具類	緊急セット	救急箱		6箱
	ガソリン携行缶			4個
	ブルーシート		11包	120枚
	NZシート		3箱	30枚
	土のう袋		25箱	5,920枚
	非常用飲料水袋		10箱	2,200枚
	浅井戸用手押ポンプ			5セット
	金てこ			13本
	救助工具箱			11セット
	更衣室キット			4セット
	間仕切り			10セット
	エアマット		2箱	600枚
	簡易ベット			6台
	担架			11台
	車イス			7台
食器類	皿	深皿		1,183枚
		小皿		280枚
		平皿		277枚
		陶器深皿		36枚
		陶器小皿		27枚
	カップ	汁用カップ		0個
	スプーン	先割れ		400個
おぼん			570枚	

※上記のうち、カレーライス40食・おぼん400枚は、市役所倉庫に保管

## I-1 防災倉庫備蓄品一覧（蓮田中央小学校）

平成26年4月1日現在

分類	品名	仕様	箱数	総数
資機材	防災用品セット			1 箱
	組立仮設トイレ	ベンクイック洋式		2 台
	簡易トイレ	サニタクリーン	5 箱	10 セット
	便袋	Newサニタクリーン	39 箱	7,800 枚
	保管用収納袋		1 箱	10 パック
	ワンタッチトイレ	学校女子トイレ専用	2 箱	10 セット
	トイレ用スペア袋		2 箱	100 枚
	救助工具箱			1 セット
毛布・タオル類	毛布	真空パック	41 箱	410 枚
		災害救助用	6 箱	60 枚
	夏掛		7 箱	70 枚
	タオルケット		2 箱	40 枚
	ボアシート		1 箱	20 枚
	バスタオル	真空パック	5 箱	250 枚
		真空パック	6 箱	1,200 枚
		ダンボール詰	40 箱	2,000 枚
タオル	タオル合計	46 箱	3,200 枚	
石鹸		2 箱	320 個	
救助具類	ブルーシート		1 包	10 枚
	非常用飲料水袋		1 箱	200 枚
	金てこ			1 本
	救助工具箱			1 セット

## I-2 防災倉庫備蓄品一覧（蓮田南小学校）

平成26年4月1日現在

分類	品名	仕様	箱数	総数
食糧	アルファ米	わかめご飯	10 箱	500 食
資機材	組立仮設トイレ	ベンクイック洋式		1 台
	簡易トイレ	サニタクリーン	1 箱	1 セット
	救助工具箱			1 セット
毛布・タオル類	毛布	真空パック	20 箱	200 枚
		災害救助用	15 箱	150 枚
	タオル	タオル合計		105 枚
救助具類	ブルーシート		2 包	20 枚
	NZシート		1 包	10 枚
	金てこ			1 本
	救助工具箱			1 セット
	エアマット		2 箱	600 枚
	担架			2 台
	車イス			1 台

### I-3 防災倉庫備蓄品一覧（蓮田北小学校）

平成26年4月1日現在

分類	品名	仕様	箱数	総数
食糧	アルファ米	わかめご飯	20箱	1,000食
資機材	防災用品セット			1箱
	組立仮設トイレ	ベンクイック洋式		1台
	簡易トイレ	サニタクリーン	5箱	10セット
	保管用収納袋		1.5箱	15パック
	トイレ用スペア袋		1箱	50枚
	懐中電灯	(強力ライト)		1個
	リアカー	(組立式)		1台
	救助工具箱			1セット
毛布・タオル類	毛布	真空パック	19箱	190枚
	ボアシート		1箱	20枚
	バスタオル	真空パック	5箱	250枚
	タオル	ダンボール詰	3箱	150枚
		タオル合計	3箱	150枚
救助具類	ブルーシート		2包	20枚
	NZシート		2包	20枚
	非常用飲料水袋		1箱	200枚
	浅井戸用手押ポンプ			1セット
	金てこ			1本
	救助工具箱			1セット
	担架			1台

### I-4 防災倉庫備蓄品一覧（黒浜小学校）

平成26年4月1日現在

分類	品名	仕様	箱数	総数
食糧	ライスるん	おかゆ	14箱	700食
資機材	防災用品セット			1箱
	組立仮設トイレ	ベンクイック洋式		1台
		札幌式		1台
	簡易トイレ	サニタクリーン	5箱	10セット
	保管用収納袋		1箱	10パック
	ワンタッチトイレ	学校女子トイレ専用	2箱	10セット
	トイレ用スペア袋		1箱	50枚
	懐中電灯	(強力ライト)		2個
	リアカー	(組立式)		1台
	救助工具箱			1セット
毛布・タオル類	毛布	真空パック	70箱	700枚
	タオルケット		3箱	60枚
	ボアシート		1箱	8枚
	タオル	ダンボール詰	20箱	1,000枚
		タオル合計	20箱	1,000枚
	下着	男性用		50枚
女性用			50枚	
救助具類	非常用飲料水袋		1箱	200枚
	金てこ			2本
	救助工具箱			1セット
	簡易ベット			1台
	車イス			1台

## I-5 防災倉庫備蓄品一覧（黒浜南小学校）

平成26年4月1日現在

分類	品名	仕様	箱数	総数
食糧	アルファ米	わかめご飯	10箱	500食
資機材	リアカー	(組立式)		1台
毛布・タオル類	毛布	真空パック	15箱	150枚
	タオル	ダンボール詰	4箱	4枚
		タオル合計	4箱	162枚
救助具類	緊急セット	救急箱		1箱
	土のう袋		5箱	1,000枚
	非常用飲料水袋		1箱	200枚
	救助工具箱			1セット
	更衣室キット			3セット
	間仕切り			4セット
	担架			2台
	車イス			2台

## I-6 防災倉庫備蓄品一覧（黒浜北小学校）

平成26年4月1日現在

分類	品名	仕様	箱数	総数
食糧	アルファ米	わかめご飯	10箱	500食
資機材	防災用品セット			1箱
	組立仮設トイレ	ベンクイック洋式		1台
	簡易トイレ	サニタクリーン		5セット
	便袋	Newサニタクリーン		1,000枚
	保管用収納袋			100パック
	リアカー	(組立式)		1台
	コードリール	30m		1個
毛布・タオル類	毛布	真空パック	16箱	200枚
救助具類	ブルーシート		1包	10枚
	土のう袋		14箱	4,800枚
	非常用飲料水袋		1箱	200枚
	金てこ			1本
	救助工具箱			1セット
	更衣室キット			1セット
	間仕切り			6セット
	簡易ベット			4台

## I-7 防災倉庫備蓄品一覧（黒浜西小学校）

平成26年4月1日現在

分類	品名	仕様	箱数	総数
資機材	防災用品セット			2 箱
	組立仮設トイレ	ベンクイック洋式		1 台
	簡易トイレ	サニタクリーン	6 箱	11 セット
	便袋	Newサニタクリーン	1 箱	100 枚
	保管用収納袋		1 箱	25 パック
	ワンタッチトイレ	学校女子トイレ専用	2 箱	90 セット
	トイレ用スペア袋		2 箱	60 枚
	懐中電灯	(強力ライト)		1 個
	発電機	ヤマハ2500i		1 台
	メガホン	(拡声器)		1 台
	リアカー	(組立式)		1 台
毛布・タオル類	毛布	災害救助用	71 箱	710 枚
	ボアシート		1 箱	26 枚
	バスタオル	真空パック	4 箱	218 枚
	タオル	真空パック	11 箱	2,232 枚
		ダンボール詰		566 枚
	タオル合計		2,798 枚	
救助具類	緊急セット	救急箱		1 箱
	ブルーシート			10 枚
	非常用飲料水袋			200 枚
	金てこ			1 本
	担架			1 台

## I-8 防災倉庫備蓄品一覧（平野小学校）

平成26年4月1日現在

分類	品名	仕様	箱数	総数
毛布・タオル類	毛布	真空パック		70 枚
食器類	皿	深皿		1,183 枚
		小皿		280 枚
		平皿		277 枚
		陶器深皿		36 枚
		陶器小皿		27 枚
	カップ	汁用カップ		0 個
	スプーン	先割れ		400 個
	おぼん		170 枚	



# I-9 防災倉庫備蓄品一覧（蓮田中学校）

平成26年4月1日現在

分類	品名	仕様	箱数	総数
食糧	アルファ米	ごもくご飯	16箱	800食
資機材	防災用品セット			1箱
	組立仮設トイレ	ベンクイック洋式		1台
	簡易トイレ	サニタクリーン	7.5箱	15セット
	便袋	Newサニタクリーン	2箱	4枚
	保管用収納袋		3.5箱	35パック
	ワンタッチトイレ	学校女子トイレ専用	2箱	10セット
	トイレ用スペア袋		1箱	50枚
	懐中電灯	(強力ライト)		1個
	発電機	ヤマハ2500i		1台
	メガホン	(拡声器)		1台
	リアカー	(組立式)		1台
	救助工具箱			1セット
	投光器			2基
	スタンド			1台
	コードリール	30m		1個
毛布・タオル類	毛布	災害救助用		600枚
	タオル	ダンボール詰	20箱	1,000枚
		タオル合計	20箱	1,000枚
救助具類	緊急セット	救急箱		1箱
	ガソリン携行缶			1個
	ブルーシート		1包	10枚
	非常用飲料水袋		1箱	200枚
	金てこ			1本
	救助工具箱			1セット
	担架			1台
	車イス			1台

# I-10 防災倉庫備蓄品一覧（蓮田南中学校）

平成26年4月1日現在

分類	品名	仕様	箱数	総数
食糧	アルファ米	わかめご飯	14箱	700食
資機材	防災用品セット			2箱
	組立仮設トイレ	ベンクイック洋式		1台
		札幌式		1台
	簡易トイレ	サニタクリーン	5箱	10セット
	便袋	Newサニタクリーン	15箱	3,000枚
	保管用収納袋		2箱	20パック
	ワンタッチトイレ	学校女子トイレ専用	2箱	10セット
	トイレ用スペア袋		2箱	100枚
	懐中電灯	(強力ライト)		2個
	発電機	ヤマハ2500i		1台
	メガホン	(拡声器)		1台
	リアカー	(組立式)		1台
	救助工具箱			1セット
	投光器			2基
	スタンド			1台
	コードリール	30m		1個
毛布・タオル類	毛布	真空パック	40箱	400枚
		災害救助用	6箱	60枚
	夏掛		6箱	10枚
	タオルケット		1箱	20枚
	ボアシート		1箱	20枚
	バスタオル	真空パック	1箱	50枚
		真空パック	1箱	200枚
	タオル	ダンボール詰	1箱	150枚
タオル合計			350枚	
救助具類	緊急セット	救急箱		1箱
	ガソリン携行缶			2個
	ブルーシート		2包	20枚
	非常用飲料水袋		1箱	200枚
	浅井戸用手押ポンプ			2セット
	金てこ			1本
	救助工具箱			1セット
	簡易ベット			1台
	担架			2台
車イス			1台	

# I-11 防災倉庫備蓄品一覧（黒浜中学校）

平成26年4月1日現在

分類	品名	仕様	箱数	総数
食糧	アルファ米	わかめご飯	10箱	500食
資機材	防災用品セット			1箱
	組立仮設トイレ	ベンクイック洋式		1台
		札幌式		1台
	簡易トイレ	サニタクリーン		10セット
	便袋	Newサニタクリーン		2,800枚
	保管用収納袋			10パック
	ワンタッチトイレ	学校女子トイレ専用	2箱	10セット
	トイレ用スペア袋		1箱	50枚
	懐中電灯	(強力ライト)		1個
	発電機	ヤマハ2500i		1台
	メガホン	(拡声器)		1台
	リアカー	(組立式)		1台
	救助工具箱			1セット
	投光器			2基
	スタンド			1台
	コードリール	30m		1個
毛布・タオル類	毛布	真空パック	20箱	200枚
	夏掛		6箱	60枚
	タオルケット		1箱	20枚
	ボアシート		1箱	20枚
	バスタオル	真空パック	5箱	250枚
		真空パック	6箱	1,200枚
		ダンボール詰	4箱	200枚
タオル	タオル合計	10箱	1,400枚	
救助具類	緊急セット	救急箱		1箱
	ガソリン携行缶			1個
	ブルーシート		1包	10枚
	非常用飲料水袋		1箱	200枚
	浅井戸用手押ポンプ			1セット
	金てこ			1本
	救助工具箱			1セット
	担架			1台

## I-12 防災倉庫備蓄品一覧（黒浜西中学校）

平成26年4月1日現在

分類	品名	仕様	箱数	総数
資機材	防災用品セット			1 箱
	組立仮設トイレ	ベンクイック洋式		1 台
	簡易トイレ	サニタクリーン	5 箱	5 セット
	救助工具箱			1 セット
	投光器			1 基
毛布・タオル類	毛布	真空パック	25 箱	250 枚
	ボアシート			15 枚
	タオル	真空パック	1 箱	200 枚
救助具類	土のう袋		6 箱	120 枚
	非常用飲料水袋		1 箱	200 枚
	金てこ			1 本
	救助工具箱			1 セット

## I-13 防災倉庫備蓄品一覧（平野中学校）

平成26年4月1日現在

分類	品名	仕様	箱数	総数
資機材	防災用品セット			2 箱
	組立仮設トイレ	ベンクイック洋式		1 台
		札幌式		1 台
	簡易トイレ	サニタクリーン	10 箱	20 セット
	便袋	Newサニタクリーン	20 箱	4,000 枚
	保管用収納袋		3 箱	30 パック
	ワンタッチトイレ	学校女子トイレ専用	2 箱	10 セット
	トイレ用スペア袋		2 箱	100 枚
	懐中電灯	(強力ライト)		2 個
	発電機	ヤマハ2500i		1 台
	メガホン	(拡声器)		1 台
	リアカー	(組立式)		1 台
	救助工具箱			1 セット
毛布・タオル類	毛布	真空パック	70 箱	700 枚
		災害救助用	1 箱	4 枚
	夏掛		3 箱	3 枚
	タオルケット		1 箱	20 枚
	バスタオル	真空パック	4 箱	200 枚
	タオル	真空パック	3 箱	600 枚
		ダンボール詰	24 箱	1,200 枚
	タオル合計	27 箱	1,800 枚	
石鹼		2 箱	320 個	
救助具類	緊急セット	救急箱		1 箱
	ブルーシート		1 包	10 枚
	非常用飲料水袋		1 箱	200 枚
	浅井戸用手押ポンプ			1 セット
	金てこ			2 本
	救助工具箱			1 セット
	担架			1 台
車イス			1 台	

## 6 民間団体等及び市町村との協定の状況

### (1) 災害時に必要となる生活物資等の確保対策

生活必需品については、蓮田市地域防災計画において、「目標数量の3分の2程度は平常時より流通業者と協定を結んで万全を期す」と計画されているため、生活協同組合さいたまコープや㈱カインズ等と協定が結ばれている。

### 民間団体等との協定の締結状況(H27.1.1現在)

協定名	相手方の名称	締結年月日
災害時における米穀調達に関する協定書	南彩農協	平成8年3月19日
災害時におけるLPガス供給に関する協定書	埼玉県LPガス協会南埼玉支部 蓮田地区	平成8年3月29日
災害時における一般廃棄物処理案内協力体制 実施協定書	埼玉県清掃行政研究協議会	平成9年6月2日
災害時における相互協力に関する協定書	蓮田郵便局	平成9年6月23日
広域停電事故による蓮田市防災行政無線の使用に 関する協定書	東京電力(株)さいたま支社	平成11年4月1日
防災用施設及び備蓄品の使用に関する覚書	県立蓮田松韻高等学校	平成12年11月27日
災害救助に必要となる医薬品等の調達に関する 協定書	蓮田市薬剤師会	平成13年3月22日
防災用施設の使用に関する覚書	県立蓮田特別支援学校	平成17年1月8日
災害時における人員及び物資等の輸送に関する 協定書	(社)埼玉県トラック協会 久喜支部	平成17年7月11日
災害時における優先協力要請に関する協定書	蓮田市防災対策協力会	平成19年1月15日
災害時における応急生活物資供給等の協力に関する 協定書	生活協同組合さいたま コープ	平成21年6月22日
災害時における電気設備等の復旧に関する協定書	埼玉県電気工事工業組合	平成21年12月3日
放射能による水道水汚染時におけるミネラルウォーターの乳児向け優先供給協定書	キリンビバレッジ(株)	平成23年6月1日
災害時における生活物資の供給協力に関する協定	(株)カインズ	平成25年1月23日
災害時における救援物資提供に関する協定	(株)伊藤園	平成25年12月25日
災害情報等の広報に関する協定	(株)JCN関東	平成26年3月19日
災害時におけるインフラ等の応急対策業務に関する 協定書	蓮田新都市懇話会	平成26年8月28日

(2) 市町村相互の応援協定等の状況

災害時に備え、他市町村との間で避難場所の相互利用等に関する協定が結ばれている。

市町村相互応援協定の締結状況 (H27. 1. 1 現在)

協定名	相手方の名称	締結年月日
災害時の避難場所相互利用に関する協定書	さいたま市	平成 8 年 6 月 6 日
災害時における相互応援及び避難場所の相互利用に関する協定	春日部市、宮代町、白岡市、杉戸町	平成 8 年 11 月 27 日
災害時における相互応援に関する協議書	久喜市、幸手市、宮代町、白岡市、杉戸町	平成 12 年 1 月 14 日
災害時の避難場所相互利用に関する協定	伊奈町	平成 14 年 1 月 24 日
災害時の避難場所相互利用に関する協定	上尾市	平成 14 年 2 月 12 日
災害時相互応援に関する協定	長野県松川町	平成 24 年 10 月 1 日

7 市民への周知等の状況

小中学校に設置してある防災倉庫は、災害があった時に市民が利用する生活必需品などを備蓄しているもので、地域性を考慮して学校ごとに備蓄品が相違しているため、周知はしていない状況である。今後は、各種マニュアルの策定とともにドアの裏側に一覧表を貼りつけるなどの対策を行う予定である。

8 各地域の自主防災組織との連携

現在、自主防災組織が 33 組織 (37 自治会) 設立されており、避難所が開設された場合には、運営の主体となることが想定されている。また、自主防災組織連絡協議会が平成 17 年度に設置され、現在 33 組織全てが加入し、自主防災組織相互の連絡と健全な発展を図り、蓮田市における防災意識の高揚と充実強化を期することを目的として活動している。市としては、日頃から各組織のみならず、連絡協議会との連携が重要であると考えている。

## 第8 むすび

蓮田市第4次総合振興計画の基本政策の一つとして、「安心安全で快適なまちをつくる」ことが掲げられている。また、災害対策基本法に基づき、「蓮田市地域防災計画」が策定され、災害発生時に備えて小中学校13校に防災倉庫が整備され、食料及び生活必需品・防災用資機材が備えられている。

今回、「防災倉庫の設置・管理及び災害時における活用等について」ということで、実際に、防災倉庫に備蓄されている備蓄品の管理状況等を確認したところ、備蓄目標に達していないものや使用できるかどうか分からないものがあるなど、管理が決して十分とはいえない状況が見受けられた。

今後、市として災害発生時における安心安全を確保するためにも、緊急時に活用される備蓄品の管理の徹底及び充実強化が図れるよう、以下の指摘、意見・要望を述べ、監査結果の報告のむすびとする。

### 第1 指摘事項

#### 1 防災備蓄品の点検・確認等について

防災備蓄品については、毎年4月に備品整理簿に基づき確認及び点検を実施しているということである。しかし、現地調査の結果報告事項でも述べたように、平野中学校の防災倉庫に備えられていた懐中電灯について、使用できるかどうか確認してみたところ、乾電池は納入した時点のまま包装されていたが、いつ納入されたか分からず、開封してみると、電極のマイナス部分は液漏れした後発生したと思われる赤錆が発生し、点灯確認をしても全く反応しなかった。災害は、いつ発生するか分からないので、防災備蓄品については、いつでも使用できるよう定期的に点検・確認をしておくべきである。

#### 2 飲料水用のポリタンクについて

平野小学校に設置してある防災倉庫を確認したところ、備品整理簿に記載のない「飲料水用」と表記されたポリタンクが保管されていた。このポリタンクについては、飲料水用と表記がしてあるものの、実際は一度、灯油を入れて使用したもので、洗浄も確認されないまま飲料水を入れるようになっていた。災害等は、いつ発生するか分からず、いざ防災倉庫に備蓄してある物資等を使用することになった場合、「飲料水用」と表記されたポリタンクがそのまま保管してあることは、健康面や事故等にもつながりかねない事態であると考えられるため、早急に新しい飲料水用のタンクを配備し、現在のものは廃棄すべきである。防災倉庫は、単なる倉庫ではなく、蓮田市地域防災計画で定められた災害時に必要とされる物資を備蓄する重要な倉庫であるため、このようなことがないように改めるべきである。

なお、残り10か所の防災倉庫についても同様の状況が考えられるので、早急に点検・確認を行う必要がある。

## 第2 意見・要望事項

### 1 備品整理簿の整備について

防災倉庫に備蓄されているのは、アルファ米等の食料、及び寝具・炊事用品等の生活必需品、防災資機材であり、防災倉庫備品整理簿により備蓄品の管理が行われている。この備品整理簿を確認すると、「分類・品名・仕様・梱包数量・総数等」の記載があり、各防災倉庫に備蓄されている物品等が分かるようになっている。今回、13校に設置してある防災倉庫のうち、蓮田中央小学校・平野小学校・平野中学校の3か所の防災倉庫について、備品整理簿に基づく現地調査を行った。その結果、備品整理簿に記載のないリアカーなどが収納されていることが確認された。また、寝具等の備品については、梱包している箱に備蓄された年度等の記載があったが、一部のタオルについては、いつ備蓄されたのか分からない状況であった。食料品を除く備蓄品についても、全て保存している年数等が確認できるようにしておく必要がある。また、確認方法は、梱包等を目視したのみで中身の確認はしていないとのことであり、梱包されていたものもほこりが被っていた。これらについては、定期的に中身の確認をするとともに、梱包している箱等に備蓄を行った日付等を記載するとともに、備品整理簿にも購入または備蓄した日にち等が分かるような記載欄を設け管理することが望ましいと考える。

### 2 備蓄品の整備・充実について

蓮田市地域防災計画の備蓄対策によると、災害時に必要とされる物資は、被災想定人口を6,300人と設定し、必要食料数が18,900食、必要生活必需品数が被災想定人口分並びに被災想定世帯525世帯分となっている。このことについて、防災倉庫の備蓄状況を確認してみると、食料は、「アルファ米4,500食・ライスるん700食・カレーライス40食」の合計5,240食分であった。これらは、蓮田市地域防災計画で、「目標数量を基に平常時から備蓄するものであるが、それを補完する形で目標数量の3分の2程度は流通業者等と協定を結んで万全を期す。また、食料については、市民に対して1日分の備蓄を促進していく」と計画されている。このように蓮田市地域防災計画では、目標数量の3分の1を備蓄することになっているため、6,300食の備蓄が必要であるということになるが、実際、食料の合計備蓄数量は、5,240食分であるため、約1,000食分が不足している状況である。このことについて確認したところ、「担当課としては最低限目標数量の確保を行いたいという考えではあるが、直ぐにはできないため、予算の範囲内で努力する」ということであった。災害はいつ発生するか分からないため、市民の安心・安全を確保するためにも、早急に目標数量の備蓄を行うよう望むものである。



### 3 災害時における防災倉庫備蓄品の活用等について

現在、自主防災組織が33組織（37自治会）設立されており、避難所が開設された場合には、避難所運営の主体となることが想定されている。

しかし、実際には、蓮田市地域防災計画において、第6章・市の防災力の強化、第3節・生活維持活動のための準備、第2・避難所運営体制の整備の中では、災害時における避難所運営を迅速に行うために、「埼玉県避難所の運営に関する指針」に基づく「避難所運営管理マニュアルを作成し、関係各課及び施設管理者に運営方法の習熟を図る」ことになっているが、マニュアルは完成していない状況である。

このような状況で災害等が発生した場合、避難所を開設し防災倉庫の備蓄品を活用する事態となった時に対応できるのかどうか疑問に思われる。災害等により避難所を開設する事態はいつ発生するか分からないため、緊急時を想定し早急に防災備蓄品を活用した避難所運営のための「避難所運営管理マニュアル」を作成し、自主防災組織と連携した避難所の運営等がスムーズに行われるよう準備しておくことを要望する。

### 4 災害時における生活物資等の確保について

災害時に必要となる生活物資等については、蓮田市地域防災計画にある「目標数量の3分の2程度は平常時より流通業者と協定を結び万全を期す」という計画に基づき、民間団体等及び市町との協定により確保対策が取られていることは評価できる。しかし、実際に災害等が発生したときには、運送車両や運転手不足等も考えられるため、これらについても十分考慮した体制を整え、市民の安心・安全に十分に応えることのできるよう対策を講じておくことを要望する。



## 資料編目次

項 目	頁
◇災害対策基本法第 42 条ほか（抜粋）	22
◇蓮田市第 4 次総合振興計画（抜粋）	24
◇蓮田市地域防災計画・第 10 備蓄対策（抜粋）	26
◇避難場所・避難所一覧	29
◇市町村における民間団体等との協定の締結状況	31
◇市町村相互応援協定の締結状況	31

## [災害対策基本法]

### 第三章 防災計画

(市町村地域防災計画)

第四十二条 市町村防災会議（市町村防災会議を設置しない市町村にあつては、当該市町村の市町村長。以下この条において同じ。）は、防災基本計画に基づき、当該市町村の地域に係る市町村地域防災計画を作成し、及び毎年市町村地域防災計画に検討を加え、必要があると認めるときは、これを修正しなければならない。この場合において、当該市町村地域防災計画は、防災業務計画又は当該市町村を包括する都道府県の都道府県地域防災計画に抵触するものであつてはならない。

2 市町村地域防災計画は、おおむね次に掲げる事項について定めるものとする。

一 当該市町村の地域に係る防災に関し、当該市町村及び当該市町村の区域内の公共的団体その他防災上重要な施設の管理者（第四項において「当該市町村等」という。）の処理すべき事務又は業務の大綱

二 当該市町村の地域に係る防災施設の新設又は改良、防災のための調査研究、教育及び訓練その他の災害予防、情報の収集及び伝達、災害に関する予報又は警報の発令及び伝達、避難、消火、水防、救難、救助、衛生その他の災害応急対策並びに災害復旧に関する事項別の計画

三 当該市町村の地域に係る災害に関する前号に掲げる措置に要する労務、施設、設備、物資、資金等の整備、備蓄、調達、配分、輸送、通信等に関する計画

3 市町村地域防災計画は、前項各号に掲げるもののほか、市町村内の一定の地区内の居住者及び当該地区に事業所を有する事業者（以下この項及び次条において「地区居住者等」という。）が共同して行う防災訓練、地区居住者等による防災活動に必要な物資及び資材の備蓄、災害が発生した場合における地区居住者等の相互の支援その他の当該地区における防災活動に関する計画（同条において「地区防災計画」という。）について定めることができる。

4 市町村防災会議は、市町村地域防災計画を定めるに当たつては、災害が発生した場合において当該市町村等が円滑に他の者の応援を受け、又は他の者を応援することができるよう配慮するものとする。

5 市町村防災会議は、第一項の規定により市町村地域防災計画を作成し、又は修正したときは、速やかにこれを都道府県知事に報告するとともに、その要旨を公表しなければならない。

6 都道府県知事は、前項の規定により市町村地域防災計画について報告を受けたときは、都道府県防災会議の意見を聴くものとし、必要があると認めるときは、当該市町村防災会議に対し、必要な助言又は勧告をすることができる。

7 第二十一条の規定は、市町村長が第一項の規定により市町村地域防災計画を作成し、又は修正する場合について準用する。

## 第四章 災害予防

### 第一節 通則

(防災に必要な物資及び資材の備蓄等の義務)

第四十九条 災害予防責任者は、法令又は防災計画の定めるところにより、その所掌事務又は業務に係る災害応急対策又は災害復旧に必要な物資及び資材を備蓄し、整備し、若しくは点検し、又はその管理に属する防災に関する施設及び設備を整備し、若しくは点検しなければならない。

(円滑な相互応援の実施のために必要な措置)

第四十九条の二 災害予防責任者は、法令又は防災計画の定めるところにより、その所掌事務又は業務について、災害応急対策又は災害復旧の実施に際し他の者の応援を受け、又は他の者を応援することを必要とする事態に備え、相互応援に関する協定の締結、共同防災訓練の実施その他円滑に他の者の応援を受け、又は他の者を応援するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(物資供給事業者等の協力を得るために必要な措置)

第四十九条の三 災害予防責任者は、法令又は防災計画の定めるところにより、その所掌事務又は業務について、災害応急対策又は災害復旧の実施に際し物資供給事業者等（災害応急対策又は災害復旧に必要な物資若しくは資材又は役務の供給又は提供を業とする者その他災害応急対策又は災害復旧に関する活動を行う民間の団体をいう。以下この条において同じ。）の協力を得ることを必要とする事態に備え、協定の締結その他円滑に物資供給事業者等の協力を得るために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

蓮田市第4次総合振興計画

## 基本構想

(改定版)

平成25年9月

蓮田市

[抜粋]

基本政策Ⅲ

## 安心安全で快適なまちをつくる

市民のかけがえのない生命・財産を守るため、災害や危機への対策、交通安全、防犯に取り組み、市民が安心して暮らせる安心安全なまちづくりを推進します。

また、暮らしやすく快適な住環境の創出に向けて、都市機能の向上を図り、良好な景観形成の構築、生活道路の整備推進などを図っていきます。

### ●主な課題●

- ・ 地域ぐるみの防災体制の充実。
- ・ 地域ぐるみで治安確保に向けたシステムづくり。
- ・ 蓮田駅周辺の駅前空間の整備。
- ・ 幹線道路・生活道路の整備。
- ・ 効率的な下水処理環境の整備と計画的な維持管理。

# 1. 災害や危機に強いまちをつくる

かけがえのない生命・財産を守るため、市と消防が連携を密にして災害や危機への対策に取り組み、安心安全なまちづくりを推進します。

## 《施策の展開》

### (1) 防災体制の充実

大規模災害を想定した災害に強いまちづくりを行うため、防災環境の整備を図り、地域の諸団体やネットワークの力を活かしながら、防災体制の充実を図ります。

- 防災資機材・施設等の整備
- 避難体制の充実
- 自主防災組織\*等の育成
- 応急対策活動計画の整備
- 災害時における自治体、民間事業者・団体との相互応援体制の充実
- 遠隔地の自治体との災害時相互応援体制の充実と日頃の交流

#### (主要事業・主な取組み)

##### ・防災備蓄倉庫の整備と資機材の整備（前・後期）

災害時要援護者対策として、高齢者、障がい者、乳幼児を考慮した食料品の備蓄や避難所におけるプライバシー保護のための資機材の整備が必要であり、蓮田市地域防災計画に定める防災備蓄品を計画的に整備していきます。また、避難場所である小中学校に計画的に防災備蓄倉庫を整備します。

##### ・自主防災組織の育成（前・後期）

大規模災害時の行政の体制を考えると自助、共助は欠かせないことから、自主防災組織を育成し、災害時救援、救護体制の支援をさらに推進します。

##### ・地域防災計画の改定と各種マニュアルの整備（後期）

東日本大震災のような大規模災害に備え、国や県の被害想定をもとに蓮田市地域防災計画を改定し、計画に基づく各種マニュアルの整備を図ります。

# 蓮田市地域防災計画

平成 13 年 3 月  
(平成 24 年 3 月修正)

蓮田市防災会議

[抜粋]

## 第 10 備蓄対策

《危機管理課》

災害時において必要とされる物資は【必要物資量】に示す物資量が想定される。ただし、食糧の備蓄、調達は、市・県・市民がそれぞれ補完しあうものとする。

供給対象者	市	埼玉県	市民	合計
避難住民	2日分		1日分	3日分
災害救助従事者	3日分		—	3日分

### 【必要物資量】

被災想定人口数及び世帯数を①のように設定すると、必要食料数及び生活必需品数は②のようになる。

- ① 断水人口 ≒ 25,000人 (表 1.3.2)  
被災想定人口 = 1日後避難者数 ≒ 6,300人 (表 1.3.2)  
被災想定世帯数 = 建物全半壊数 (茨城県南部地震) ≒ 525世帯
- ② 必要食料数 = 被災想定人口 × 1日3食  
= 6,300人 × 3食 = 18,900食 (必要物資量)
- 必要生活必需品数  
= 被災想定人口 6,300人分並びに被災想定世帯 525世帯分 (必要物資量)

(注)：被災想定人口数及び世帯数の算定については、世帯数と建物棟数を同等とみなした。



そこで、蓮田市における食料並びに生活必需品の備蓄に関する主な品目並びに目標数量は以下のとおりとする。

① 食料の備蓄

主 な 品 目	目 標 数 量
乾パン、アルファーマ	18,900 食
乳児食（粉ミルク、離乳食）	300 食
災害時要援護者向けの食品	810 食
災害救助従事者	950 食

（注1）乾パン及びアルファーマの数量は、【必要物資量】の必要食料数を用いたものである。

（注2）乳児食は、蓮田市における0～1歳までの人口約1,000人（平成20年4月1日現在）に対して、総人口：被災想定人口（1：0.1）の比をもとに被災想定乳児人口を求め（1,000人×0.1＝100人）、この人数に1日3食分の食料数を求めたものである。

（注3）災害時要援護者向けの食品は、蓮田市における80歳以上の人口約2,700人（平成20年4月1日現在）に対して、総人口：被災想定人口（1：0.1）の比をもとに被災想定災害時要援護者人口を求め（2,700人×0.1＝270人）、この人数に1日3食分の食料数を求めたものである。

（注4）災害救助従事者の数量は、埼玉県地域防災計画に準じ、避難住民の10分の1を求め（6,300人×0.1＝630人）、この人数に1日3食の1.5日分を求めたものである。

② 生活必需品の備蓄

主 な 品 目	目 標 数 量
寝具、外衣・肌着、見回り品、日用品、食器	6,300
炊事用品、光熱材料、情報機器	525
簡易トイレ	63
車椅子対応型仮設トイレ （ハートビル法の室内寸法）	8
乳児用品	100
災害時要援護者向け用品	270

（注1）寝具、外衣・肌着、見回り品、日用品、食器の数量は、【必要物資量】の被災想定人口を用いたものである。

（注2）炊事用品、光熱材料、情報機器の数量は、【必要物資量】の被災想定世帯を用いたものである。

（注3）簡易トイレの数量は、被災想定人口を対象に100人で1つを利用するものと想定して算出したものである。

（注4）車椅子対応型仮設トイレは、オストメイト兼用とし、市内小学校区に1台とした。

（注5）乳児用品の数量は、①の（注2）で算出した被災想定乳児人口を用いたものである。

（注6）災害時要援護者向け用品の数量は、①の（注3）で算出した被災想定災害時要援護者人口を用いたものである。

災害時に必要となる食料及び生活必需品については、前述①②の目標数量をもとに平常時から備蓄するものとするが、それを補完する形で目標数量の3分の2程度は平常時より流通業者等と協定を結んで万全を期す。また、食料については、市民に対して1日分の備蓄を促進していく。

この他、防災用資機材（バール等の救助用資機材等）や医薬品の備蓄についても計画的に実施するとともに、発災時において業者からの供給が早急に行うのが難しい災害時要援護者向けの食品については優先的に備蓄を行う。

備蓄方法については、市全体が大きな被害を受けることを想定して、あらかじめ分散して必要な物資を備蓄することとし、基本的に避難所に備蓄倉庫を整備して備蓄する。

避難場所・避難所一覧表

No	避難施設名	所在地	電話番号	敷地面積(m <sup>2</sup> )	広場等面積(m <sup>2</sup> )	収容面積(m <sup>2</sup> )	収容人員(人)	避難可能人員(人)	防災リスクの結果			避難場所の種類	
									水害危険度	地震動危険度	液状化危険度	災害時	洪水時
1	蓮田南中学校	※ 蓮田 1519	769-2021	25,320	13,444	946	257	6,722		○		○	
2	老人福祉センター	※※ 蓮田 4-236	769-1455	7,473	★	340	206					○	○
3	蓮田南小学校	※ 東 6-9-11	768-0074	15,786	6,200	808	489	3,100				○	○
4	中央公民館	※※ 東 6-1-8	769-2002	1,041	★	492	298					○	○
5	堂山公園	上 2-3571		9,000			☆	4,500				○	
6	蓮田中央小学校	※ 関山 3-6-1	768-0073	19,753	10,016	726	440	5,008		○	○	○	△
7	蓮田中学校	※ 関戸 147-1	768-0064	23,421	11,220	838	507	5,610				○	○
8	蓮田北小学校	※ 関戸 3236	766-2015	16,529	5,845	727	440	2,922				○	△
9	コミュニティセンター	※※ 貝塚 1015	766-8377	3,806	★	410	248					○	
10	保健センター	※※ 緑町 2-3-11	768-5111	1,831	★	227	137			○	○	○	
11	黒浜南小学校	※ 黒浜 722	769-4814	20,617	9,813	789	478	4,906				○	○
12	環境学習館	※※ 黒浜 1061-1	764-1850	2,158	★	100	60					○	○
13	黒浜小学校	※ 黒浜 3069	768-1047	18,096	6,170	779	472	3,085				○	○
14	黒浜中学校	※ 黒浜 4748	768-0314	23,333	14,263	888	538	7,131				○	○
15	黒浜西中学校	※ 黒浜 3862	768-5454	27,594	12,893	1,008	610	6,446				○	○
16	黒浜北小学校	※ 南新宿 800	768-4180	20,437	7,744	785	475	3,872				○	○
17	黒浜西小学校	※ 西新宿 3-84	769-3169	21,064	10,926	737	446	5,463				○	○
18	平野中学校	※ 井沼 932	766-9003	22,210	8,660	881	433	4,330				○	○
19	平野小学校	※ 井沼 937	766-1308	11,289	4,720	677	410	2,360				○	○
20	農業者レクリエーションセンター	※※ 井沼 1071	766-5974	5,890	★	880	433					○	
21	黒浜公園	黒浜 4088-2	769-4622	45,000			☆	22,500				○	
22	中道公園	西新宿 3-83		11,000			☆	5,500				○	
23	五反歩公園	西城 2-110		4,700			☆	2,350				○	
24	松ヶ崎公園	桜台 2-467-2		3,300			☆	1,650				○	
25	上島公園	西新宿 1-75		4,200			☆	2,100				○	
26	小学校予定地運動場	蓮田 4-154		16,952			☆					○	
27	蓮田松韻高等学校	※ 黒浜 4088	768-7820	39,138	12,857	1,750	1,060	6,428				○	○

No	避難施設名	所在地	電話番号	敷地面積 (㎡)	広場等 面積 (㎡)	収容面 積(㎡)	収容人 員(人)	避難可能 人員(人)	防災アセスメントの結果			避難場所の種類	
									水 害 危険度	地震動 危険度	液化 危険度	災害時	洪水時
28	根ヶ谷戸公園	蓮田 2-243		16,226			☆	8,113				○	
29	図書館 ※※	上 2-11-7	769-5198	2,989	★	216	130					○	△
30	勤労青少年ホーム ※※	見沼町 4-3	768-8743	1,643	★	670	406		○			○	○
31	中央公民館関山分館 ※※	関山 4-5-32	769-7833	1,277	★	348	217					○	
32	西城沼公園	城 637-1	769-4142	44,684	41,098		☆	20,549		○		○	
33	蓮田特別支援学校 ※	黒浜 4088-4	769-3191	19,274	9,205	698	418	4,602				○	○
34	山ノ内公園	山ノ内 1-2		11,786			☆	5,893		○		○	
35	桜台防災広場	桜台 1-551-2		5,105			☆	2,552				○	
計							9,608	147,697					

(注1)「避難施設名」の※は避難場所及び避難所の兼用を意味し、※※は避難所のみを意味する。無印は避難場所のみ。

(注2)「防災アセスメントの結果」の○は、平成11年度蓮田市防災アセスメント調査の結果より危険度Aの地域に属するものである。

(注3)「避難場所の種類」中、「洪水時」の△は、建物2階以上の利用を表す。

(注4)「蓮田松韻高等学校」は、平成22年4月1日から名称変更。

(注5)「広場等面積」の★は、避難所のみのため該当なしを意味する。

(注6)「収容人員」の☆は、避難場所のみのため該当なしを意味する。

市町村における民間団体等との協定の締結状況(H27.1.1現在)

市町村名	協定名	相手方の名称	締結年月日	概要
蓮田市	災害時における米穀調達に関する協定書	南彩農協	平成8年3月19日	・米穀の優先的供給
蓮田市	災害時におけるLPガス供給に関する協定書	埼玉県LPガス協会南埼玉支部蓮田地区	平成8年3月29日	・LPガスの優先的供給
蓮田市	災害時における一般廃棄物処理案内協力実施協定書	埼玉県清掃行政研究協議会	平成9年6月2日	・一般廃棄物処理のための相互応援協力
蓮田市	災害時における相互協力に関する協定書	蓮田郵便局	平成9年6月23日	郵政事業の特別事務実施、災害情報の提供など
蓮田市	広域停電事故による蓮田市防災行政無線の使用に関する協定書	東京電力(株)さいたま支社	平成11年4月1日	・広域停電事故の場合の防災行政無線使用
蓮田市	防災用施設及び備蓄品の使用に関する覚書	県立蓮田松嶺高等学校	平成12年11月27日	県立蓮田松嶺高等学校防災用施設の使用と食糧等の提供
蓮田市	災害救助に必要な医薬品等の調達に関する協定書	蓮田市薬剤師会	平成13年3月22日	・医薬品及び医療衛生材料の優先的供給
蓮田市	防災用施設の使用に関する覚書	県立蓮田特別支援学校	平成17年1月8日	県立蓮田特別支援学校防災用施設の使用と介助備品の使用
蓮田市	災害時における人員及び物資等の輸送に関する協定書	(社)埼玉県トラック協会久喜支部	平成17年7月11日	・災害時の人員及び物資等の輸送
蓮田市	災害時における優先協力要請に関する協定書	蓮田市防災対策協力会	平成19年1月15日	災害発生時における応急対策及び必要な建設機械、資材、労力等の提供
蓮田市	災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定書	生活協同組合さいたまコープ	平成21年6月22日	応急物資の優先供給及び運搬、運搬車両の確保、被災状況等の情報提供
蓮田市	災害時における電気設備等の復旧に関する協定書	埼玉県電気工事工業組合	平成21年12月3日	電気設備等の復旧活動
蓮田市	放射能による水道水汚染時におけるミネラルウォーターの乳向け優先供給協定書	キンビハレッジ(株)	平成23年6月1日	・放射能による水道水汚染時におけるミネラルウォーターの乳向け優先供給
蓮田市	災害時における生活物資の供給協力に関する協定	(株)カインズ	平成25年1月23日	・日用品等の生活物資の供給協力
蓮田市	災害時における救援物資提供に関する協定	(株)伊藤園	平成25年12月25日	・災害時における飲料水の提供
蓮田市	災害情報等の広報に関する協定	(株)JON関東	平成26年3月19日	・災害情報等の広報に関する優先放送
蓮田市	災害時におけるインフラ等の応急対策業務に関する協定書	蓮田新都市懇話会	平成26年8月28日	・災害時におけるインフラ等の応急対策業務

市町村相互応援協定の締結状況(H27.1.1現在)

蓮田市	災害時の避難場所相互利用に関する協定書	さいたま市	平成8年6月6日	災害発生時の避難場所相互利用
蓮田市	災害時における相互応援及び避難場所の相互利用に関する協定	春日部市、宮代町、白岡市、杉戸町	平成8年11月27日	食料等の提供、被災者の救出及び必要な物資の提供、救助活動に必要な車両及び人員の提供、等
蓮田市	災害時における相互応援に関する協議書	久喜市、幸手市、宮代町、白岡市、杉戸町	平成12年1月14日	食料等の提供、被災者の救出及び必要な物資の提供、救助活動に必要な車両及び人員の提供、避難場所の相互利用等
蓮田市	災害時の避難場所相互利用に関する協定	伊奈町	平成14年1月24日	避難場所の相互利用
蓮田市	災害時の避難場所相互利用に関する協定	上尾市	平成14年2月12日	避難場所の相互利用
蓮田市	災害時相互応援に関する協定	長野県松川町	平成24年10月1日	災害時の相互応援(生活必需品の提供、資機材の提供、職員の派遣等)